

わが憲法人生70年 畑田氏語る 岐阜で講演会

「たたかい、学び続けよう」



7日、岐阜市で講演する畑田重夫氏。93年を生き延びた学徒出陣を熱く語る

岐阜市で7日、「わが憲法人生70年」と題した国際政治学者の畑田重夫さん(93)の講演会が行われ、会場いっぱい120人が参加しました。主催は治安維持法国賠同盟岐阜県女性部。

上野美事務局長(79) 畑田氏は、日本国憲法施行70年の節目にあらた

は「安倍首相は侵略戦争への反省もないまま、再び共謀罪という治安維持法を成立させようとしている。絶対に許さないたたかいを強めよう」とあいさつしました。

「憲法の重みを確認することは重要だと指摘。学徒動員時代に病気で入院し生き残ったが、学友がアメリカの魚雷攻撃を受けて全員死亡したことを振り返り、「学友の命が憲法に詰まっている」として高級官僚の道をやめ、労働者や国民とともに平和と民主主義と社会進歩の道を選択した生きざまを語りました。

畑田氏は「憲法は恋人のようでいつもポケットに入れ、私の体とともに生きている。歴史に学び、現実を見て未来を展望する。たたかい学び続けよう」と呼びかけました。

参加の男性(85)は「1954年のオーミケンシ(近江絹糸紡績)の人権争議で畑田先生から『資本論』を学び、労働運動の道筋を憲法の視点にたって語られたことがいまに生きている」と感想を語りました。